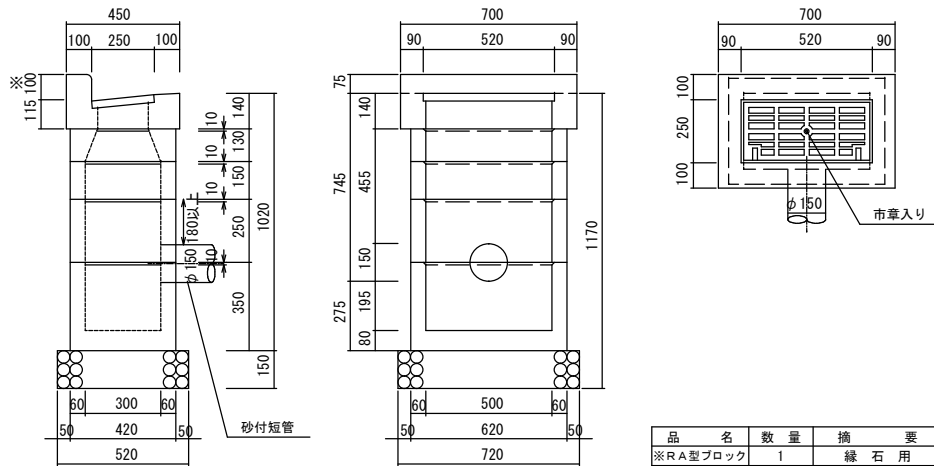


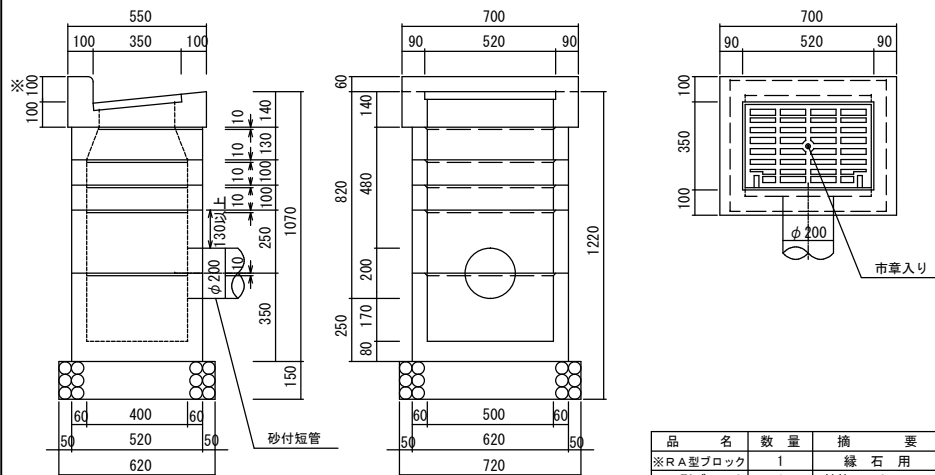
L型雨水枡構造図（４５０型）



※RA型ブロックについては、上記構造を標準とするが、土地利用等にに合わせて、RA型ブロックの構造を使い分けること。

品 名	数 量	摘 要
※RA型ブロック	1	縁 石 用
RC型ブロック	1	鉄筋コンクリート
調整ブロック	1	鉄筋コンクリート、 $t=150\text{mm}$
RD型ブロック	1	鉄筋コンクリート
RE型ブロック	1	〃
蓋 及 枠	1	ダクタイル鋳鉄製
基 礎 砕 石	0.056m ³	RC-40

L型雨水枡構造図（５５０型）



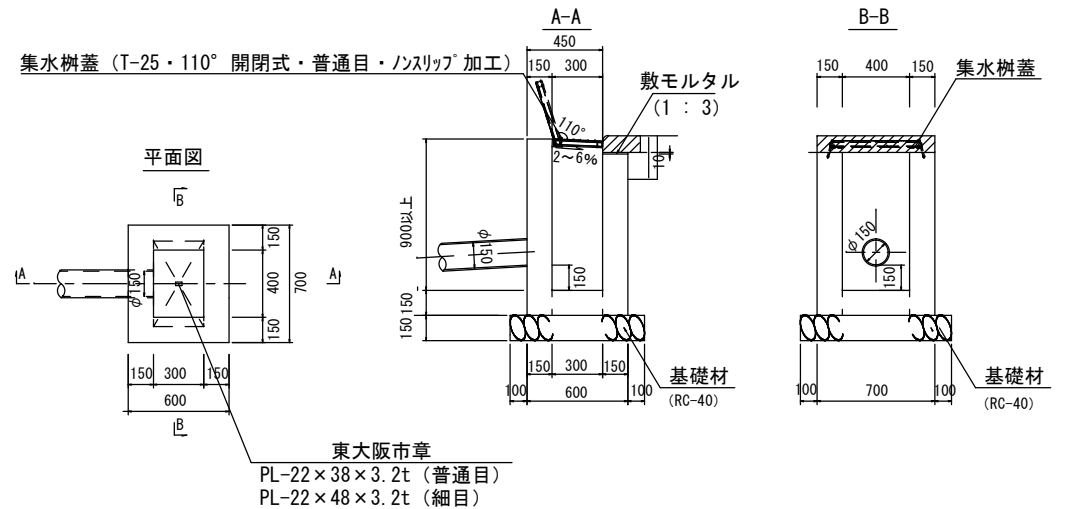
※RA型ブロックについては、上記構造を標準とするが、土地利用等にに合わせて、RA型ブロックの構造を使い分けること。

品 名	数 量	摘 要
※RA型ブロック	1	縁 石 用
RC型ブロック	1	鉄筋コンクリート
調整ブロック	2	鉄筋コンクリート、 $t=100\text{mm}$
RD型ブロック	1	鉄筋コンクリート
RE型ブロック	1	〃
蓋 及 枠	1	ダクタイル鋳鉄製
基 礎 砕 石	0.056m ³	RC-40

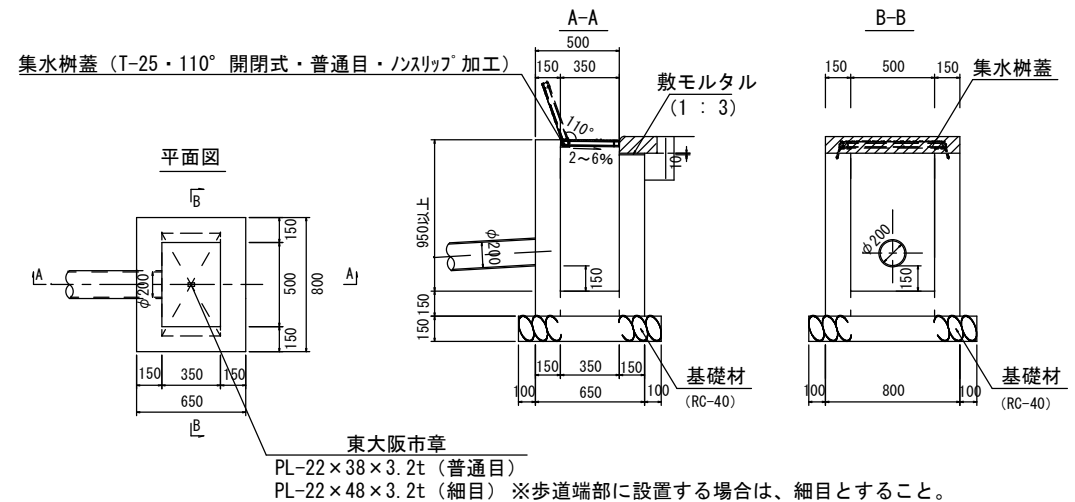
L型雨水枡を設置する間隔は、おおむね20m毎に設けるものとするが、現地状況により最終の位置を決定するものとする。

現場打ち集水枡 ※車両乗入部等に設置する場合

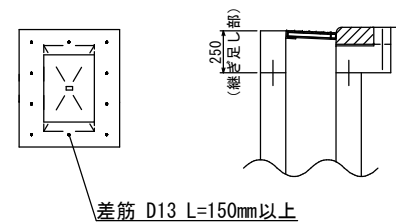
① L型側溝450型用



② L型側溝550型、街渠枡用

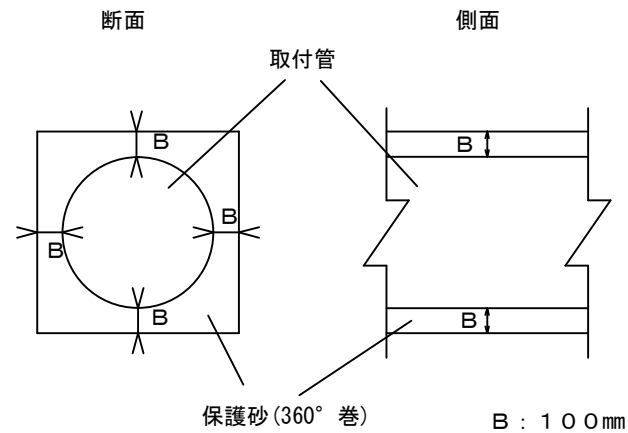


※上部と下部を分けて施工する等の二段階施工（継ぎ足し）とする場合は、下記のとおりとする。



- ・打ち継ぎ目部に差し筋（D13 $L=150\text{mm}$ 以上）を施工すること。
- ・差し筋は、集水枡の長手方向に4本以上、短手方向に3本以上施工すること。
- ・差し筋の根入れは、 $L/2$ とする。 L ：差し筋の長さ

雨水取付管一般図



- ・管種は、VU管とする。
- ・管径は、雨水枳450型使用の場合 $\phi 150\text{mm}$
550型使用の場合 $\phi 200\text{mm}$ とする。
- ・取付管は、平面図上、一直線となるよう施工すること。
- ・既存管を再利用する場合は、健全性を確認の上、別途協議とする。
- ・既存管を撤去する場合は、管を残置せず全て除去し、管口は雨水本管の根元で閉塞すること。

